

1910年に京阪電鉄が京都大阪間を結ぶと舟運は衰退し、寝屋川を付替えてOMMビルや京阪天満橋駅の部分を埋立てる工事により、船着場も埋立てられました。

第二次世界大戦の戦火により谷町筋の西側一帯は焼失し、戦災復興の土地区画整理事業が行われました。北大江公園はこの時にできた公園です。

大川沿いでは八軒家駐車場の部分が埋立てられ、1963年にはその下を京阪電鉄が淀屋橋まで延長されました。さらに2008年には天満橋駅から分岐する中之島新線が開業します。

大阪城や大川という資源がありながら、どちらかというと、平日昼間のまちというイメージで発展し、観光とは縁遠くなっていましたが、1983年にアクアライナーが就航、2008年には新しい船着場が整備されるなど、水都大阪の再生により、国際集客都市大坂の一翼を担う地区としての活性化が図られています。